

ロサンゼルスから車で約2時間。

かつてハリウッド・セレブたちが自由と享楽を求め目指した夢の街、砂漠の真ん中にまるで蜃気楼のように現われるリゾート。

言わば砂漠のオアシスと言った所にモダニズム建築が点在していた。

■Kaufmann House

リチャード・ノイトラ1946年の作。

ランドスケーパーによる石庭と見事に調和したアプローチを抜け、ファサードを半分だけ覗かせる佇まいは、何処から見てもバランスの取れた美しいスタイル。砂漠の枯山水と言うのは一目見て頷ける。 外観のみの見学という事が非常に残念であった。

■Frey House II

アルバート・フレイ1963年の作。

この建築もカウフマン邸と同様、中を見る事は出来なかった。それどころか、タークイス・キャニオンの標高200フィートの中腹にある為、次項で述べるオービットインにて見上げる形での視察となった。オービットイン越しの写真を見ても分かる通り、基本はやはりアースカラー。

外壁は山肌に同化するサンドピンクと、カーテンは砂漠に咲く小菊の黄色、室内の天井まで見る事は出来なかったが、参考資料によるとセージグリーンらしい。

もっと近くで見たいという声も上がっていたが、この周囲の自然に調和した佇まいを伺うには、オービットインからの視察は適切だった様に思う。

